

とよおかし 議会だより



第73号

2019年(令和元年)11月発行

♪ Busジャズ

もくじ

9月定例会の報告	2～5
一般質問に18人	6～15
議会を傍聴してひと言	16
意見書、請願・陳情	17
懇談会、視察報告	17～18
6月定例会の委員会意見と当局回答、 12月定例会の予定	19
まちのSmile&Genki 編集後記	20

編集 議会広報広聴特別委員会 発行 豊岡市議会
〒668-8666 豊岡市中央町2-4 TEL 0796-23-1119 FAX 0796-24-8041
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp> E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp

第2回 かなべ高原JAZZ
(江原駅発神鍋高原行200円バスにて車内演奏)





多くの傍聴があった9月定例会

平成30年度決算をはじめ補正予算案、報告案件、条例の制定並びに一部改正案など39件および意見書案2件を慎重審議しました。主な議案等について紹介します。



ホームページでも議会の情報をご覧ください。 **豊岡市議会** 

※1 会計年度任用職員とは

地方公務員法の改正によって一会計年度を超えない範囲内で置かれる非常勤の職員（フルタイム職員およびパートタイム職員）で、従来の臨時職員および非常勤職員等をいう。

旬な解説

用語の説明



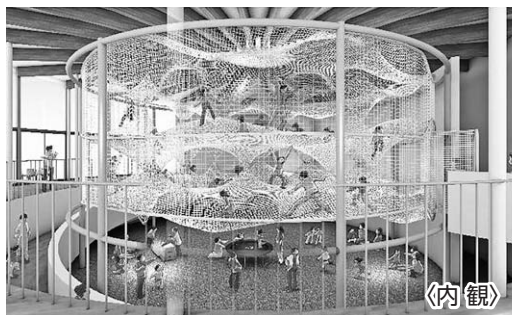
※2 幼児教育・保育の無償化とは

幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳までのすべての子どもおよび住民税非課税世帯の0歳から2歳までの子どもの施設利用料が無料となることをいう。

全員賛成 可決



〈外観〉



〈内観〉

改修後の植村直己冒険館イメージ

条例関係

会計年度任用職員^(※1)の給与及び費用弁償に関する条例制定

地方公務員法の改正に伴い会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する事項を定めるもの。

【議会の意見】

制度導入にあたり対象職員の意向を尊重するとともに増加する人件費の財源を国に要望すること。

事件案件

事業契約の締結

植村直己冒険館機能強化改修運営事業

金額14億1,883万円

【議会の意見】

このPFI事業は契約が長期間に及ぶ。事業進捗の点検、報告、情報公開に努め、慎重に事業を進めること。

9月
定例会

議案審議

8月30日～9月27日(29日間)

幼児教育・保育の無償化および会計年度任用職員に関する条例など全会一致で可決！

補正予算

幼児教育・保育の無償化^(※2)

認可外保育施設等利用者に補助
266万円

保育所等を利用する子どもとの公平性を保つため、認可外保育施設、預かり保育等を利用する子どもについて、利用料を支給する。

出 石温泉館「乙女の湯」

運営事業者を公募
5,636万円

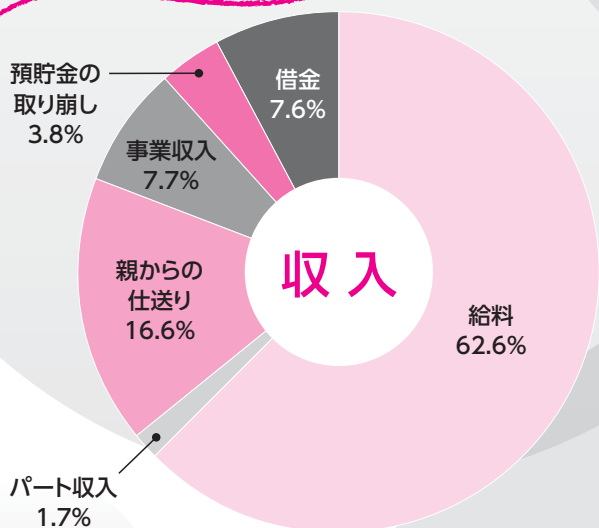
温泉施設の機能を維持、継続するため施設の民営化を目指すとともに、広く運営事業者を募り、早期の施設再開を図る。



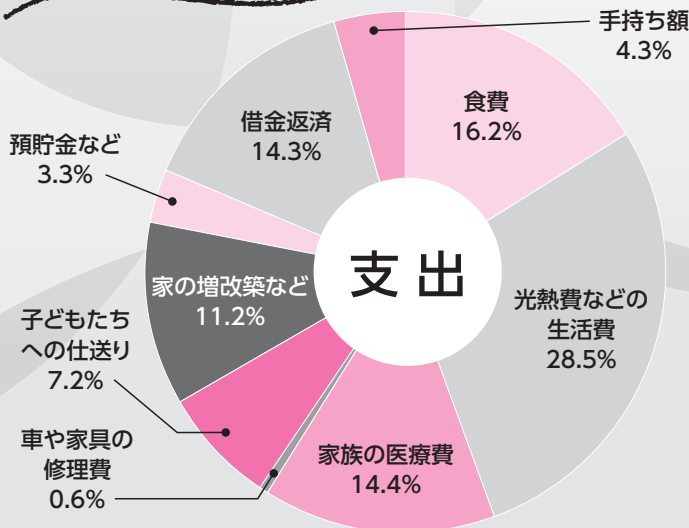
わが市の家計簿

一般会計決算額を家計(月額30万円)に例えてみると…
毎月1万3千円が黒字に

収入割合のグラフ



支出割合のグラフ



収入

給料	18万8千円 (62.6%)
うち基本給 (市税)	6万4千円
うち諸手当、期末手当 (地方消費税交付金、地方交付税など)	12万4千円
パート収入 (使用料及び手数料)	5千円 (1.7%)
親からの仕送り (地方譲与税、国県支出金など)	5万円 (16.6%)
事業収入 (分担金及び負担金、寄附金、諸収入など)	2万3千円 (7.7%)
預貯金の取り崩し (繰入金)	1万1千円 (3.8%)
借金 (市債)	2万3千円 (7.6%)
合計	30万円 (100.0%)

支出

食費 (人件費)	4万9千円 (16.2%)
光熱費などの生活費 (物件費、補助費等)	8万5千円 (28.5%)
家族の医療費 (扶助費)	4万3千円 (14.4%)
車や家具の修理費 (維持補修費)	2千円 (0.6%)
子どもたちへの仕送り (他会計操出金)	2万2千円 (7.2%)
家の増改築など (投資的経費)	3万3千円 (11.2%)
預貯金など (積立金、貸付金、投資及び出資金)	1万円 (3.3%)
借金返済 (公債費)	4万3千円 (14.3%)
手持ち額 (繰越財源)	1万3千円 (4.3%)
合計	30万円 (100.0%)



30年度一般会計決算額は歳入が約470億1,238万円で、歳入歳出差引額は約20億2,845万円(うち繰越財源は約12億560万円)に上ります。

これを年収360万円(月額30万円)の家計に例えてみました。毎月の収入額と支出額の差1万3千円は、厳しい財政状況の中にあっても、やりくりをして支出額を抑え、次年度以降のために現金を手元に保管している状態を示しています。実際の決算では、これらが繰越金の原資となります。

地方交付税は決算額の約38%を占める依存財源ですが、その目的は、税収の多い自治体と少ない自治体間の財源調整などのために、いったん国が集めた税を地方自治体に再配分しているものです。

そこで、本来的に地方自治体の収入と言えることから、左上の収入割合のグラフでは「給料(諸手当、期末手当)」に区分しています。

本会議での反対・賛成討論

— 超過課税 —

賛成

新風とよおか議員

適切妥当な決算である
実質収支は赤字でも、実質年度収支は赤字。議会で認めてきた経過もあり、財政など4つの危機から脱却するためにも現時点では廃止に同意できない。

反対

共産党あおぞら議員

超過課税はやめるべき
市民税に超過課税があるのは全国でも豊岡市のみ。10年以上たった今も市民の理解が得られていない。市民の暮らしを圧迫する超過課税はやめるべき。

賛成多数 可決

平成30年度 一般会計決算認定 (第87号議案)

— 子ども医療費 —

賛成

新風とよおか議員

適切な予算執行である
医療費の助成事業は、ワーキンググループで検討しているとの説明を受けている。夏季の暑さ対策が進み、学校の環境も整いつつあり、適切な決算である。

反対

共産党あおぞら議員

子ども医療費無料化を
全国的に、中学校卒業まで無料のところも多い。子ども医療費の無料化は市民要望も強く、早急に実施すべきだ。安心して子育てができる環境を整えるべき。

— 空港助成金 —

賛成

とよおか市民クラブ議員

大交流など大きく貢献
新型機が就航し利用者が増加しており、利用促進の補助金も影響している。大交流やインバウンドに空港が大きく貢献している。今後に必要な予算である。

反対

共産党あおぞら議員

空港助成金の再検討を
市民には財政難を理由に補助金カットなど負担を強いている。一部しか利用しない補助金であり、他との均衡を見ても多すぎる。補助率を抑えるべき。

● 予算決算委員会の意見および要望

一般会計決算

放棄した債権(一般会計)

負担公平性の点からさらに検討研究を加え、チェック機能を強化し債権放棄の縮小を図りたい。



危険空き家を含め空き家の状況把握に努め、市民の安心・安全に向けて努力されたい。
また、厳しい財政状況が見込まれるので、工業団地等の水道料金特別料金の見直しも含め検討されたい。

意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。

賛成は○、反対は×、棄権・除斥等は「—」、議長は採決に加わらないので「/」、欠席は「欠」で表示しています。

議案名	新風とよおか							とよおか市民クラブ							日本共産党 あおぞら豊岡 市会議員団	ひかり	豊岡市議 会公明党			豊岡市議 会議員 会	審議結果				
	浅田徹	上田倫久	岡本昭治	関貫久仁郎	木谷敏勝	清水寛	田中藤一郎	土生田仁志	井垣文博	伊藤仁	井上正治	嶋崎宏之	椿野仁司	福田嗣久			松井正志	上田伴子	奥村忠俊			村岡峰男	青山憲司	足田仁司	西田真
第87号議案 平成30年度豊岡市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	/	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	認定

一般質問に18人

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、さまざまな課題について活発な議論を交わしました。

浅田 徹 (7ページ)

- 安心・安全対策
- 産業用地の整備
- 教育・保育の推進

嶋崎 宏之 (7ページ)

- 平成30年度決算と長期財政見通し
- 防災・減災
- 教育

上田 倫久 (8ページ)

- 豊岡演劇祭と専門職大学
- 北近畿豊岡自動車道と産業不登校
- 人口減少下における厳しい財政の見通し

村岡 峰男 (8ページ)

- 一般会計決算
- 会計年度任用職員制度
- 農政
- 演劇のまち

福田 嗣久 (9ページ)

- 長期財政見通し
- 警察署の再編計画
- 青年団の拠点整備
- 空き家対策

伊藤 仁 (9ページ)

- 市民サービスの向上と行革
- 受益者負担
- 地域振興と大交流
- 公共施設マネジメント

竹中 理 (10ページ)

- 第0回豊岡演劇祭
- 中小企業支援
- 介護福祉事業
- 市民相談内容

岡本 昭治 (10ページ)

- 教育懇談会
- 出石温泉館「乙女の湯」
- コウノトリ育むお米ブランド化推進

田中 藤一郎 (11ページ)

- 市政の運営
- 公共施設
- 豊岡市経済と障害者の活躍の可能性

西田 真 (11ページ)

- 障害者福祉
- 防災・減災
- 熱中症対策
- 交通安全対策
- 消防行政

松井 正志 (12ページ)

- 第4次行財政改革
- 子どもたちの記憶に残る授業
- 提出議案等

土生田 仁志 (12ページ)

- 地方創生
- 市税の徴収実績
- 学校教育

清水 寛 (13ページ)

- 増え続ける空き家対策
- 市が持つ各種団体事務局
- 住民自治の未来

上田 伴子 (13ページ)

- 高齢者の事故防止
- 幼児教育・保育の無償化
- 学校の安全
- 防災対策

芦田 竹彦 (14ページ)

- 幼児教育・保育
- 子どもの教育
- 市政の運営
- 防災対策
- 地域の環境整備

足田 仁司 (14ページ)

- 所得と健康
- 子どもの貧困対策
- ジェンダーギャップの解消

青山 憲司 (15ページ)

- 財政運営
- 平成30年度決算
- 地域課題

奥村 忠俊 (15ページ)

- 温泉施設
- 旧焼却場の撤去
- 空き家対策
- 円山川水系治水対策

市議会の本会議が
インターネットで
ご覧になれます！



インターネットにより、定例会のようすをライブ中継と録画中継で映像配信しています。ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継

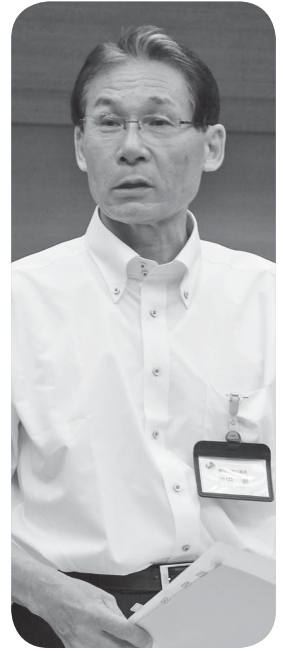
検索



スマートフォンでも定例会のライブ中継を配信!



QRコードで
質問の録画映像を
ご覧いただけます



浅田 徹 議員
(新風とよおか)



安心・安全対策と教育・保育の推進

土砂災害レッドゾーンの災害対策の検討を

問 県は、土砂災害で特に建物や生命に著しい危険が生じる区域をレッドゾーン指定したが、市の早急な対応が必要だと思いませんか

答 避難場所については検討しているが、どの住宅が区域にかかっているかは、検討していない。

豊岡盆地の地盤沈下の対応と対策を早急に

問 円山大橋および立野大橋の橋詰が堤防の沈下で歩道が急こう配になり、スリップによる転倒事故の危険性があるが、早急に改修ができないか。また、地下水汲み上げと地盤沈下の因果関係があるが、消雪装置の水利の見直しはどうか

答 歩道の沈下については、点検を行い、可能な範囲で補修を実施すると道路管理者の県から聞いている。

また、消雪装置は、県・市とも抑制策として消雪装置を節水型に変え、地下水の汲み上げ量を削減している。新たな施設は、河川水を利用。

小学校のプール使用と校庭芝生化の再検討を

問 今年、温度基準でプールが使用できなかった小学校は、水温調整の検討ができないか。また、グラウンドの芝生の存続について、学校現場や地域の声を聞いてはどうか

答 プールの水温を下げるとは、時間と費用を要し難しい。芝生化は、子どもの使用を前提に、地域の要望も聞いて使いやすい環境に努めたい。



スリップ事故の危険性が增大！
(堤防の地盤沈下で歩道が急こう配に)

保育の無償化による待機児童対策は

問 待機児童解消の具体策は

答 市子ども・子育て会議に諮問中であり、近日中に答申をいただく予定

2018年度決算と長期財政見通しは

問 決算の評価と今後の財政見通しはどうか

答 一般会計の2018年度実質収支額は、8億2300万円の黒字となり、2018年度までは後年度を見据えた財政運営がおおむね適切にできたと考えている。しかし、今年度以降の収支は赤字が予測されており、非常に厳しい財政運営を余儀なくされるものと予測している。

大雨特別警報の周知を

問 線状降水帯による大雨特別警報への備えは

答 大雨特別警報は警戒レベル5に相当し、災害が既に発生してもおかしくない状況である。大雨特別警報発表時には直ちに

決して楽観視できない今後の財政見通し



嶋崎 宏之 議員
(とよおか市民クラブ)



に命を守るための最善の行動をとる必要がある。そのため、市政懇談会、広報とよおか、市のホームページ、出前講座、消防団の会議等の機会を捉え、周知を行っている。

問 災害時の唯一の道路、円山川右岸道路の改良工事の進捗状況は

答 整備延長1700mの内、現時点で1200m

プログラミング教育を

問 2020年度から全小学校で始まるプログラミング教育の狙いは

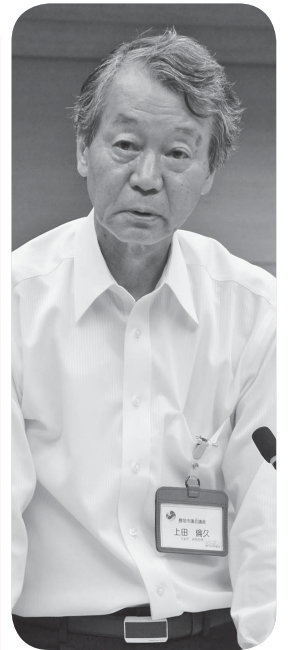
答 今や情報技術は社会を支える重要な要素の一つとなっている。そのような社会で子どもたちに求められるのは、情報や情報技術を主体的に活用していく力であり、プログラミングを体験しながら論理的思考力を身につけさせることである。



2020年度の完成を目指す右岸道路



QRコードで質問の録画映像をご覧ください



上田 倫久 議員
(新風とよおか)



豊岡演劇祭の今後と専門職大学の展望

第0回豊岡演劇祭の

評価

問 演劇祭を終えての感想はどうか

答 3日間のイベントとして大成功であった。来年度以降の本格的な開催についての大きな可能性を感じさせるイベントであり有意義な演劇祭であった。

問 参加状況はどうか

答 1564名の方が演劇祭に観客として参加された。外からの若い人が多かった。また、多彩な方々が参加されていた。

例えば、東京大学教授の鈴木寛氏、社会学者の宮台真司氏、山階鳥類研究所の奥野所長、世界的なダンサー児玉北斗氏、木田真理子夫妻など。

企業が、姿形が見える前から一緒にやってやっていただいた。

今後の課題としては、非常に多様にとんだ劇場のエリアだが、次の会場に歩いて行けない。演劇会場をどのようにつなぐかというモビリティの問題が大きな課題である。

専門職大学の現状は

問 課題と今後の取り組みと方向性はどうか

答 第0回であるにもかかわらず、日本航空、KDDI、トヨタ・モビリティ

基金を中心とするトヨタグループの協賛を得、超小型自動車等の支援があった。日本でも有数の

問 専門職大学の進捗状況はどうか

答 本年10月の設置認可申請に向け、文部科学省と事前相談などを行いつつ、来年8月に認可

される予定である。また、施設の整備については9月24日開会の県議会を経て、10月を目前に工事を着手されることになっており、2021年1月頃の竣工予定である。

※モビリティとは 移動手段のこと



第0回豊岡演劇祭の受付 (城崎国際アートセンター)

豊岡市だけの市民税超過課税は、廃止を

問 2018年度も黒字決算だ。実質収支額8億2284万7千円である。

この黒字額を市民の暮らし応援に、市民の要望実現に活用する考えはないか。黒字を形成する上で欠かせないのが市民税と固定資産税の超過課税だ。下水道建設の借金返済に必要というが、全国のどの自治体でも多額の借金で実施した事業だ。豊岡市だけが超過課税をしないと返済できない財政状況か。また、いつまで続けるのか

答 単年度収支は203万4千円であり黒字額は大きくはない。財源の観点から、子ども医療費の無償化や超過課税の見直しなど検討できる状況でない。市民の安全・安心な暮らしに必要な財源として廃止する考えはない。

農地・農村・農業を守る

問 耕作放棄地の増加は、高齢化、後継者がいないことも原因だ。農業で食えない国の農業政策こそ本筋の犯人ではないか。またクマの出没が今年も

収獲物被害にとどまらない樹木への被害で、結果として放棄施設となる。また、集落の環境整備や農業経営維持に有効な多面的機能支払交付金事業がある。条件を満たしながら辞退する集落がある。

市の取り組みはどうか

答 農地利用最適化推進員と農業委員がパトロールを行い、早期の対策を行っている。クマは、県下で推定830頭が生息し、生息地域をゾーンニング。周辺集落ゾーンや集落ゾーンでは、捕獲された個体は原則殺処分となる。多面的機能支払交付金事業は、農会長会議等で制度の説明を実施。今年6件の問い合わせがあり、うち2件の新たな申請に前向きな意見があった。



村岡 峰男 議員
(日本共産党・あおぞら豊岡市議会議員団)



「クマ」捕獲檻!



QRコードで
質問の録画映像を
ご覧いただけます



福田 嗣久 議員
(とよおか市民クラブ)



空き家問題は非常事態！

長期財政見通し

問 2018年度の10年間の歳入歳出の見通しは、マイナス44億円から57・3億円へ13・3億が拡大。

人口減も厳しくなる中、人件費総額の切込が甘いのではないかと

答 人口減少に合わせて行政経費を削減できるのであればハッピー。保育所で4、5歳児は一人で30人の子どもを見ることが出来る。3か所10人ずつであれば3人必要。結局非効率のままこのまंचが残る。実は仕事はどんどん増え行政需要は膨らみ続けている。

警察署の再編計画

問 縮小再編計画は、治安上の課題、市民生活の上で支障はないか

答 分庁舎や元警部派出所



放置された空き家！ クマヤシカのすみ家にも！

劇団青年団拠点整備

問 アゴラ企画の使命、ビジョンには圧倒される。決算から見ると非常に虚

所では運転免許の更新事務は曜日限定して実施される。地域の治安を担う交番や駐在所は現状通り存続。計画に疑問点があれば要望も行う。

空き家対策

問 2018年、空き家対策計画が策定された。増加がとまらず非常事態と認識しているがどうか

答 空き家の除却は原則所有者責任だ。危険な空き家は特別措置法に基づき費用の一部を補助する制度がある。特定空き家、または候補になれば利活用は無理情報共有し、早い段階で手が打てるように検討していきたい。

城崎国際アートセンター

問 これまでに約2億8千万円をかけ整備。今後建て替えでは35億2千万円、長寿命化では5億1千万円。市民利用が少ない施設におお市民負担を押し付けるのか

答 専門職大学、新文化会館整備など他施設との機能分担の調整を図り、サポートしていることだ。



オープン以来、管理費がかさむ城崎国際アートセンター

利用料・宿泊経費いつまでタダ？

検討した上で長寿命化工事を進めたい。

問 世界各地から応募があり、大成功とは何を指し、なぜ成功したのか

答 世界や日本の中でも最高の方々がお越しになっている。劇団青年団の本拠地が豊岡に移る。利用が無償であること、スタッフが献身的にサポートしていることだ。

コンビニ交付

問 実施することによる市民の利便性の考えはどうか

答 全国のコンビニで証明書6時半から23時まで取得でき、市民の利便性は向上すると考える。

問 オープン以来、運営管理費が約1億1千万円。いつまでタダで使用させ、宿泊させるのか

答 無料をいつまでも継続したい。この施設が赤字であってもまち全体が黒字になって、トータルとして黒字になれば、それだ。

問 6月議会では、規模自治体の利用率は、2%に満たないと答弁があった。2017年度実績であり、どの自治体も2016年途中、2017年途中から始めたばかりの自治体である。このような数値をもとに利用率は低いとの答弁は、不快であるがどうか

答 近隣6市についてそのような結果であったこととお知らせしたところだ。

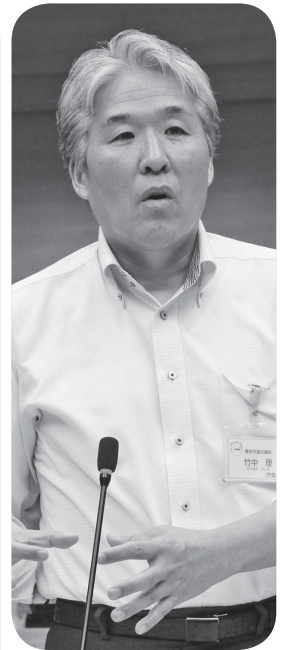


伊藤 仁 議員
(とよおか市民クラブ)





QRコードで
質問の録画映像を
ご覧いただけます



竹中 理 議員
(豊岡市議会公明党)



第0回演劇祭の成功を今後の市の活力に！

問 成功裏に終わったと聞く演劇祭の入れ込み客状況と市民の反応は

答 3日間9公演メデアを含め観客動員数1564人。市外観客が市民より多いかもしれない。日本を代表する社会学者などが今後の期待を語って帰られた。来年度以降の実施に非常に大きな期待を感じ取った。

問 演劇祭で活用された企業貸出車を、今後のまちづくり構想として高齢者の移動手段に広げていく考えはあるか

答 豊岡における高齢者の移動手段にヒントを与えてくれた。地域の移動手段の適切な開発を企業と一緒に進める。別の話ではあるが将来的に地域通貨を発行し市内だけで使えるものを

別の企業と取り組んでいく。もっと情報戦略で宣傳しても良かったのでは

問 今後さらにPRしていくが歌舞伎のようにメディア露出後に関心が深まることも経験している。

介護福祉事業

問 要介護認定を行う高年介護課の年間一人当たりの認定数は

答 認定調査員24名で一人当たり年間240件。一人当たり月20件、原則一日1件。高齢者が増える今後は増員もあり得る。

問 認定調査員の裁量によって要介護度が変わることはあり得るか

答 経験年数で若干気になる部分もあるが研修をしっかりする。統一した調査結果が出るよう今後も対応していく。

問 要介護変更申請を病院内でできないと聞くが事実か

答 一般論としては指摘のとおりである。指摘の意見は他にも聞いており承知している。課題はあるので今後しっかり検討したい。



若い人たちが賑わっていた
城崎国際アートセンター

教育懇談会

問 7月から8月にかけて開催された教育懇談会の開催目的は

答 市の少子化の現状と小規模校、特に児童数が50人以下の小規模校についての教育諸課題、諸問題を伝え、地域やPTAで話し合ってもらうための情報提供を行うこと。そして、地域の方から率直な意見を聞かせていただくことである。

問 教育懇談会の終了を受けて、今後予定されている事業計画と実施時期についてはどうか

答 審議会設置決定後、今年度中に1回または2回審議会を開催し、少子化の状況、学校配置の状況等を審議いただくことを考えている。

問 地域の方々がどう判

関心が高かった小規模小学校の統合問題

断されるかということが一番大切と考えるが、統合が考えられる小学校において、積極的に話を進められるところ、そうでないところと開きがあることを心配するが

答 声が上がらないのか、声を上げにくいのかの問題もあるので、声が出やすいよう、議論を踏まえながら進めたい。

出石温泉館「乙女の湯」

問 将来発生する費用として、市の試算では、大規模改修事業として、約1億円の費用が必要になると見込んでいるが、その費用はどこが負担となるのか

答 民営化されたあとのことなので、市として一切関与しない。経営者の判断となる。

問 市内にある、ほかの



岡本 昭 治 議員
(新風とよおか)



営業再開を待ち望む声が多い出石温泉館「乙女の湯」



QRコードで
質問の録画映像を
ご覧いただけます



田中 藤一郎 議員
(新風とよおか)



豊岡市と市民との思いの違いとは?!

会計年度任用職員制 度の導入の考え方

問 来年4月から財政の厳しい中で1億2千万円人件費増となるがどのように考えるか。どう行財政改革を行うのか

答 制度創設に伴い事務の効率化を職員と一緒に考え行財政改革の一環を担っていく。

問 市長、議員、職員給料0・015%削減すれば予算が浮き市民のためになるのでは

答 削減するとモチベーションが下がりサービスの低下につながる。

新文化会館の駐車場

問 新文化会館の専用駐車場約50台で、少ないという指摘があるが、どのように考えているか

答 駐車場のないところ

であり、周辺のいろんな駐車場をフルに活用すれば少なくない。

問 十分な駐車場の確保を望む声中で本当に総合体育館の駐車場、市の駐車場の利用での考え方

答 現段階でもやりくりできているので欲を言えば切りがない。

豊岡市経済と障害者の活躍可能性

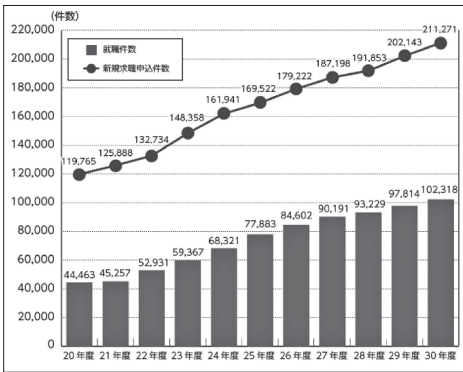
問 地元企業への働き方改革に伴う障害者への新たな雇用のチャンスを活かすためのサポート支援と対策

答 国や県では支援する制度はあるが、

本市において支援策はない。

問 大企業では障害者の本来ある力を発揮できる制度設計を作り出し大きな力につながっているが、市として経営者の皆さんへ理解を得るようなサポート、支援は考えられないのか

答 サポート体制は十分と認識している。市もさまざまな機会をつくり一緒に進めていく。



障害者の雇用は進展しているが、さて、豊岡では? (厚生労働省HPから)

ヘルプマーク

問 ヘルプマークが全国共通のマークになったこともあり、援助や配慮が必要な人のサインとなるヘルプマークの普及促進がさらに必要と思うがどうか

答 福祉の窓口に来られて初めてヘルプマークのことを聞かれた方もおられることから、まだまだ十分に周知が図られていないと認識をしている。市民の方々に対して、さらなる普及啓発に努めていく必要があると考えている。

サポートハートマーク

問 「何か困ったことがあれば声をかけてください」という意思を表す、サポートハートマークの周知が必要だと思いがど



「困っている人を助けたい!」サポートが必要な方、声をかけてください!

うかない市民がかなりあることが課題。スマートフォンの保有率が高い若い世代などに對する普及啓発に力を入れていきたいと考えている。

「障害者福祉マーク」の広報・周知を



西田 真 議員
(ひかり)



いきたい。

ひょうご防災ネット

問 サポートハートマークの周知に関する考え方も、障害者に関するさまざまなマークがある中でより多くの市民の皆さんにそれぞれのマークの意味、違いを理解していただけるかが課題。まずは、ヘルプマークを中心に市・県・全国でより多くの方に認識いただきやすいマークの啓発に努めて

答 毎年登録者数は増えていますが、携帯電話やスマートフォンをもっていない方がまだ登録されて

問 本年5月21日からひょうご防災ネットスマートフォンアプリの運用が開始され、利便性も向上し、さらなる普及促進が

答 必要だと思うがどうか



QRコードで質問の録画映像をご覧ください

いつまで続ける工業団地水道料金の特別料金



松井正志議員 (とよおか市民クラブ)



問 工業団地水道料金の差額を負担してきた。市の責任や役割は十分果たしたのではないか。厳しい財政見通しの中で、存続させる意義があるか

答 委員会から出てくれば、検討せざるを得ないと思うが、約束であり、両者が合意すれば別として、守らなければならぬと考えている。

子どもたちが充実した学校生活を送るために

問 教員は子どもたちの一生の記憶に残る学校生活や授業の責任を負っている。学校教育の専門家

答 市内にも自分の持ち味を發揮し、子どもの関心や興味を大切にしながら授業を行っている教員はたくさんいる。すべての子どもたちがわかる知識、技能、思考力の育成を目指している。

問 行財政改革で、これまで市民サービスや制度を変えてきており、企業に対しても可能ではないか。行財政改革委員会で議論できるのではないか



子どもたちの意欲を引き出す授業(三方小学校)

問 委員会で出てくれば、検討せざるを得ないと思うが、約束であり、両者が合意すれば別として、守らなければならぬと考えている。

問 記憶に残る個人的な教員の存在や授業のあり方についてはどうか

答 多くの教職員は教育の専門家としての責任を自覚し、みずからの役割を果たそうとしている。

外観だけになった、改修工事現場



土生田仁志議員 (新風とよおか)



江原河畔劇場(仮称)となる、旧豊岡市商工会館

これで良かったのかな、青年団活動拠点整備

問 豊岡市商工会の跡地だが、更地の鑑定評価1940万円、建物解体撤去費用1380万円で差額の560万円が売買価格だ。当初、市は建物は無償譲渡、用地は貸し付ける方向で協議したが、アゴラ企画から4月1日土地建物の購入希望

答 鑑定評価額の際に経済的価値がゼロなもの建物がある場合には、予測される解体撤去費を引くという、それで土地建物の売買価格が決まるとのことだ。実際に購入者側には外観は残した上で劇場にするということは一貫して変わらない。今の売買価格を算定するときに解体撤去費を引いたうえで算定するという、価格を決め

が出され、協議の結果7月25日、鑑定評価額560万円で購入契約を締結した。「建物撤去費用」の項目が、この期間の間に「改修工事着手」と変更されたこと理由は何か

市税収納率の向上は

問 市税徴収成果について尋ねる。まじめに働き、きちんと納めている大多数の市民に対して、2018年度の主要な施策の7ページを見ると、徴収率94・3%となっている。このうち滞納繰越はどのくらいあって、近年の傾向として多い金額なのか、少ないのかどうか

答 滞納繰越分の徴収率は過去5年の平均17・7%と比べ、5%程度増加している。滞納繰越分の調定済額は2016年度に7・2億円であったが、2018年度は6・5億円であり減少傾向だ。



QRコードで
質問の録画映像を
ご覧いただけます



清水 寛 議員
(新風とよおか)



合併後、旧村単位の自治は放任!?



どんな取り組みも
やる気になればいつでも! いつまでも!

本的な精神を侵し、行政依存を
一気に加速しか
ねず、極めて慎
重な態度が必要
だ。コミュニ
ティビジョン策
定の次の課題と
して、どのよう
な間合いを取り
ながら進めてい
くのかも検討し
ていきたい。

問 行政区の現状と課題をどう考えるか

答 担い手がいないという認識はある。小学校区単位に新しいコミュニテイ組織を作り、集落や区を補完し、人材を推進力の一つとしながら課題を整理し、物理的拠点にする政策を進めてきた。一方で、力を弱めていく区に対して、不用意な行政の関与は逆に自治の基

問 運営のモデルケース的な情報提供としては

答 各区の運営状況等をまとめたものはない。また、新たに全区に対するアンケート実施は、現時点では考えていない。

問 空き家対策の今後の展開はどうか

答 移住希望者の需要の多くが賃貸物件であるのに対して、物件が少ない。業者管理以外の物件の掘り起こしを強化していければと考える。

問 地域の主体的な取り組みを支援しては

答 さまざまな団体や個人から事業に対して要望や提案をいただくが、政策提案を受け事業化する

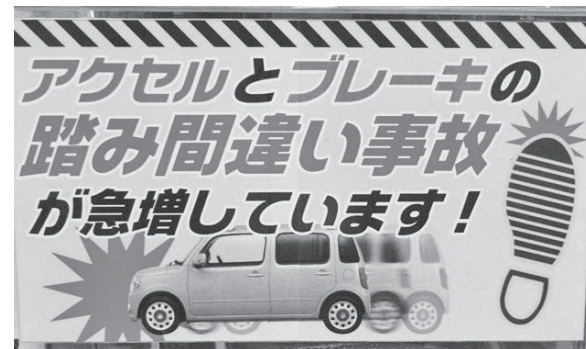
問 共創社会の一員として役割分担への考えは

答 本来団体に事務局を持つていただくべきものは、基本的には自主的に運営していただくことが適切と考える。

高齢ドライバーの事故防止に装置の助成を



上田 伴子 議員
(日本共産党・あおぞら豊岡市議員団)



急発進防止装置、取り付けに県の補助決定

保育料に含まれていた副食費を有料にすることは、大きな問題である。副食費の無償化、または、補助についてはどうか

問 保育料の中に含まれていた給食費を切り離すのはおかし。1か月4500円、年間54000円の負担は大変だ。自治体が負担したり、補助したりするところが出てきている。市も保育料が国基準の79・5%であったが、それを使って補助ができないか

答 給食費を全部市が持つと、6千万円かかる。余分な財源が出てこない限り、国の基準どおり、徴収していきたい。

問 保育の無償化に合わせた副食費も無償に!

問 現状は装置自体に問題があり、メーカーで改良に取り組みされている。装置への支援については考えていない。

問 豊岡市では、公共交通網が減便し、代わりの交通手段としてできるだけ車を運転したいと思っている人が多い。しかし、事故の不安もあり、ペダル踏み間違い防止装置を考えている人が増えている。装置への購入助成を求めるがどうか

問 国からの通知では、今年5月に交通安全対策に関するワーキングチームを設置し、施策の検討が始まり、ペダル踏み間違い防止装置の導入について、今年中に結論を得

海水浴場の環境美化！清掃活動に感謝



芦田竹彦議員
(豊岡市議会公明党)



幼児教育・保育の無償化

問 給食費の免除拡大の具体的な内容は

答 幼児教育・保育の無償化後の副食費免除対象者は、1号認定子ども、2号認定子どもとともに年収360万円未満相当世帯の子どもと第3子以降の子どもに拡充する。

問 待機児童数が現状では37名となっているが解消への取り組みは

答 無償化によって保育ニーズが高まり、さらに申し込みが増えた場合は、あり方計画の中で幼稚園の認定子ども園化や再編等で待機児童の解消を進めていきたい。

子どもの貧困対策

問 地域や社会全体で課題解決への取り組みは

答 6月に市の関係部署と外部関係団体の代表者と子ども貧困対策推進会議を設置した。3つのワーキンググループで取り組みの方向性や具体的施策等について検討し、さらに、実効性のある子どもの貧困対策に取り組んでいきたい。

問 非認知能力について、どのような取り組みを検討されているのか

答 この秋から実験的にモデル校で非認知能力向上の取り組みを進める。効果があれば全市に拡げ、子どもたちが幼児期に生きる力の基礎を身につけ、さまざまな課題の解決につながることに大いに期待をしている。

地域の環境整備

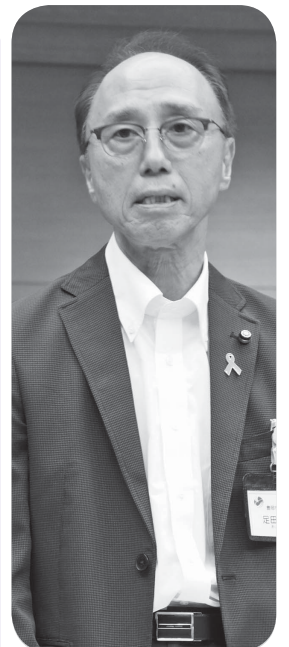
問 海水浴場の流木、漂着ごみ対策についてはどうか

答 豪雨や台風などにより大量のごみが漂着した場合は、県・市・地元団体などの関係機関が連携し対応している。通年は、地元有志で組織する清掃活動を実施している。

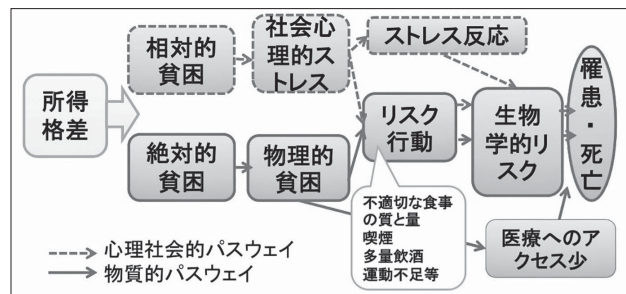


豪雨や台風で大量の漂着ごみ！（弁天浜）

所得と健康



足田仁司議員
(ひかり)



所得格差と罹患・死亡へのパスウェイ(経路)

問 医療費への効果は

答 2013年度から3年間の推移を比較すると、玄さん元気教室の参加者と非参加者で1人当たり11万5千円の医療費差(抑制効果)がある。

問 厚生労働省は、所得の低い人ほど健康施策への参加率も低いというが、市の実態は

答 把握していない。

問 市内母子家庭の相対的貧困率は67.6%。低所得母子家庭や貧困状態にある子どもの状況は

答 低所得母子家庭の定義がない。生活保護や就学援助以外の、貧困状態にある子どもの人数は把握していない。

非認知能力教育

問 市の健康施策による

とはどういふものか

答 作文による考察、アンケート調査、授業観察、振り返りシート、写真・ムービーへの反応や発言など、どれが効果的か探していきたい。

問 市内の貧困状態にある子どもたちの居場所づくりの取り組みは

答 子どもの未来応援基金による助成制度がある。子どもの貧困対策目的の居場所づくりは考えていない。

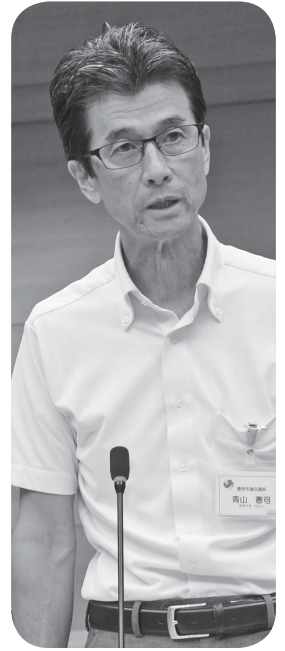
問 女性区長がないのはなぜか

答 県民意識調査で「女性の活躍に影響を及ぼす古い考え方や社会通念、習慣・しきたりが残っていること」が特に問題となっている。女性区長を増やす発想はないか

答 持ち合わせていない。



QRコードで
質問の録画映像を
ご覧いただけます



青山 憲司 議員
(ひかり)



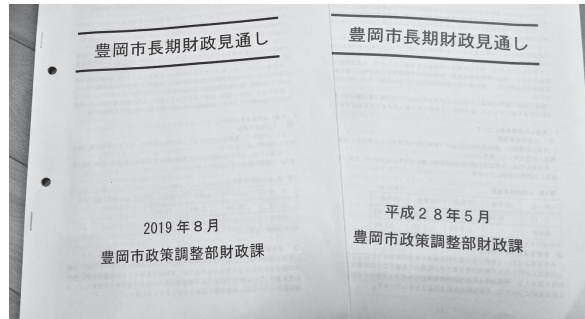
「財政の危機」に対する公約は守られたか？

問 市長は、平成25年の定例会で「合併を主導した者の責任として、次の4年で財政の危機を乗り越える目的をつける」とされたが、目的はついたか

答 目的をつけるべく行政改革等に積極的に取り組んできた。当初、交付税の減額は32億円という状況だったが、全国の合併市町村が声を上げ、10億円程度の縮減までできた。しかし、公共施設の再編、社会保障費の増嵩、会計年度任用職員制度が非常に大きく効いてくる。この状況を踏まえ、第4次行財政改革を前倒しで策定、実施する。

変化するその精度に疑問を感じる。財政環境の違いもデータ化して分かりやすくすべきではないか

答 決算額や普通交付税の算定結果および新たな制度改革等によって差が生じる。最新の傾向を反映した長期財政見通しを策定している。もう少し分かりやすい資料を考えていきたい。



精度向上が求められる長期財政見通し

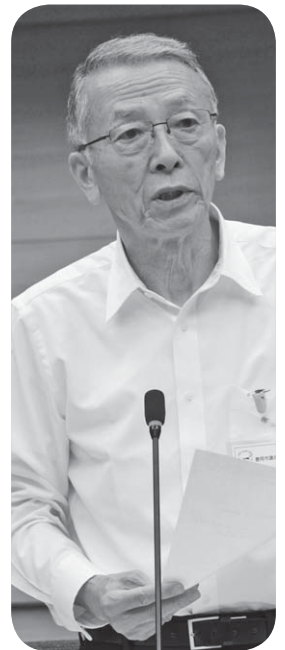
問 AIの活用や業務広域化で体制の抜本的見直しを進める必要があるのではないか

答 AIの導入によって自動化、省力化できる部分は積極的に検討、実施していく必要がある。広域化も先進事例を参考に検討していきたい。

市民が実感できるまちづくりを積極的に進めてきた」とあるが、市民は実感できたか

答 市民の生活に密着した事業を最優先に実施してきた。予算計上した事業は予定どおりできたことから市民要望は実現できていると考えている。

「乙女の湯」の早期再開を目指せ



奥村 忠俊 議員
(日本共産党・あおぞら豊岡市議員団)



問 出石の「乙女の湯」の経営について管理組合から辞退届があった。市はどう受け止めているか

答 14年間頑張っていたいただき感謝している。今後は経営ノウハウにだけ、他事業も組み合わせ、全体の収支を考えていく方に受け継いで、と考えている。「乙女の湯」の名称は愛着を持たれているが、継続を条件とはしない。



休業になり草にまみれる乙女の湯

問 事業者は公募とあるが、問い合わせはあるのか。進入路の拡幅はある。早期再開を目指し取り組んでいく。道路は、拡幅しない。

答 問い合わせは2、3ある。早期再開を目指している。拡幅は、156軒、うち特定危険空き家4軒、その候補13軒、その他空き家は10

3軒。区長が空き家でも危険ではないと判断したものはあがってない。略式代執行(撤去)は1件実施した。空き家等の数字は各区長から受けたもの。

問 市内の空き家はそんな数字ではない。法律もできているので正確に把握するべきではないか

答 活用の目的もないのに、空き家を把握する必要性はない。できることは危険なもの除去し、安全を確保することだ。

問 危険空き家は地域や市民にとって心配なもの。正確に把握し対応するべきだ。空き家等に係る固定資産税の減免制度があるが、放置された危険空き家は減免措置が停止されることがあるのでないか

答 2018年度に1件、住宅用地を特例除外した。

区長会の皆さんが 傍聴に来られました



長期財政見通しについて、もう少し具体策を提示してもらいたいと思った。質問も答弁も少し不十分だと思った。

質疑に対して、市からの答弁がハッキリとなされており大変わかりやすかった。

同じような質問が多く、答弁が重複している印象。議員のつっこみ不足を感じる。(行政の立場・方針に対して)もう少し勉強が必要では。

議員の方も、市民のことを考えて質問されていると思った。小さなことですが市民にとっては切実なこと。これからも頑張ってください。

実際の声を聴く、姿を見ると、文字を読むだけとは違い、より詳しく深く中に入っているし、書面では見られない真剣なやり取りが学べる。

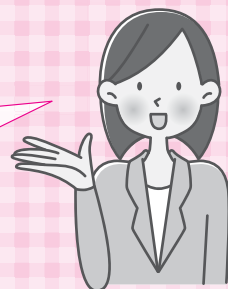
議員の方々が市民の立場に立って真剣に論議されている様に実感できた。

市長以下、また議員の皆さんが豊岡を良くしようとする姿がひしひしと感じられた。

現在の議員の思い、市の考え方がわかってよかった。

市当局は、聞く耳を磨いていただくよう期待します。
議員の方々は、政策提言能力をもっと磨いていただくようお願いします。

皆さまからの貴重なご意見を参考にさせていただきます、今後の議会運営等に生かしてまいります。
他にもたくさんのご意見をいただきありがとうございました。



聴き慣れない言葉があり、少し戸惑った。議員の方々の勉強に関心する。市民として市政にもっと関心を持ち、故郷豊岡を育てていきたい。

傍聴者が少ない。土日、夜間開催を考えるとどうか。

豊岡でぜひ、演劇甲子園を開催し、若い世代にも注目していただきたい。



議員の方々が市民の立場に立って真剣に論議されている様に実感できた。

市長以下、また議員の皆さんが豊岡を良くしようとする姿がひしひしと感じられた。

現在の議員の思い、市の考え方がわかってよかった。

意見書・請願・陳情

意見書

下水道施設の改築に係る国庫補助の継続と
予算枠の拡大を求める意見書

審議結果 全会一致で可決



昭和46年度から下水道事業に着手し、平成3年度からは県の「生活排水99%大作戦」に基づき整備を進めてきた。

今後、老朽化した汚水処理施設の改築への国庫補助が削減されれば、一般会計繰入金や下水道使用料の増額による財源確保が必要となる。財源確保ができない場合、施設の更新ができず、老朽化等により市民生活に重大な影響が及ぶことが懸念される。

さらに、南海トラフ地震や日本海沿岸地震など巨大地震が想定される中、将来にわたって市民生活や経済活動を守り、快適

加齢性難聴者の補聴器購入に対する
公的補助制度の創設を求める意見書

審議結果 全会一致で可決



日本の難聴者率は欧米諸国と比べて大差ないが、補聴器使用率は低い。補聴器は身体障害者福祉法による補装具費支給制度や医療費控除の対象者はわずかで、約9割が自費購入している実態にある。補聴器の更なる普

及で高齢になっても生活の質を落とさず過ごすことができ、認知症の予防、健康寿命の延伸、医療費の抑制の観点から、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を強く要望する。

な暮らしを支えるために次の事項を強く要望する。

- ① 下水道施設の改築に係る国庫補助制度を堅持すること
- ② その上で、災害時の機能保全、安全性確保の観点から、下水道施設の老朽化対策に必要な予算を確保すること
- ③ 南海トラフ地震や豊岡市を中心に大規模な被害が想定される日本海沿岸地震、及び巨大地震をはじめとする自然災害に備える事前防災の観点から、防災・減災対策等に必要となる予算を確保すること

懇談会



建設経済委員会

豊岡青年会議所との懇談会

豊岡青年会議所役員8人と懇談した。青年会議所は、創立以来、ひとづくり(修練)、まちづくり(奉仕)、世界との友情(友情)の3信条のもと、地域に密着した運動を展開されている。

本年度のスローガンである「実践躬行(じしんこうこう)自己の成長が地域の未来を切り拓く(ひらく)」のもと、「豊岡×SDGs」(未来のために今できること)を実践中である。

懇談では、青年会議所から人口減少による少子高齢化や後継者不足による空き店舗、空き家、子育て、未婚、晩婚、起業、観光等、直面する多くの課題をお聞きした。委員からも、本市の移住定住、空き家対策、空き店舗、小中一貫教育、ふるさと教育、企業支援、観光振興の現状等を説明するなど、活発な意見交換ができた。

今後も多岐にわたる情報を共有し、課題解決のため積極的に取り組んでいきたい。

※SDGsとは 持続可能な開発目標



「豊岡市をよりよくするために」が共通の思い

8月22日(木)

■議会運営委員会

8月7日(水)～8日(木)



井原市議会議場にて

■常任委員会による政策提言

(岡山県井原市)

毎年、大学教授により外部評価を受け、議会基本条例を検証し、ホームページで公表している。豊岡市議会では、議員自らのチェックにより検証を行ったが、第三者の評価を受け、課題を認識することは有用であり、検討してみる必要がある。

常任委員会ごとにテーマを決めて所管事務調査を行い「政策提言書」を市長に提出している。調査結果を条例制定へとつなげていく観点は重要であると感じた。

■議会モニター制度、高校生タウンミーティングの実施

(徳島県小松島市)

「議会モニター」を設置し政策提案機能を強化。定員20名以内で市民公募し、議会を傍聴してもらい意見を聞く。それに対して議会が回答していく仕組みを構築されていた。議会側も当局側も緊張感ある議論の醸成につながると感じた。

市内2校の高校生17名を招き、「小松島市の未来」をテーマに「高校生とのタウンミーティング」を実施。若者の定住を促進する観点からも有効な広聴活動であると感じた。



議会改革の説明を受ける

■人口減少対策等調査特別委員会

8月9日(金)

■但東地域の現況

但東町に、新たな生きがいを求め移住された2名のお話を聞くことができた。両人とも海外生活を経験され帰国、田舎暮らしを求め移住されている。

高橋地区に移住された方は、「ここはストレスを感じない、時間がたっぷりあり移住したことに満足」と話され、今は地域コミュニティの役員として広く活躍されている。

もうひと方は家族4人で移住、地域おこし協力隊に加わり地元のそば屋で活躍中だ。

「都会の生活が嫌になった人が田舎に来る。都会でなく田舎にあるもの、景色、空気、人、食べ物など、何をアピールできるか」「田舎に暮らし始めようとする人は、将来の不安も抱えている。仕事の紹介も充実させては」「すぐ居住できる物件を求めており、適当な物件があれば、都会からの移住者が増えると思う」などの意見が出された。

また、但東振興局の取り組みを聞く中で、市と地域等との協働で行われる事業が多くあり、ますます地域とのつながりが重要であると感じた。



移住された方から「生の声」を聞く

その後どうなった?!



6月定例会の委員会審査における委員会意見と回答

議会でまとめた意見が、単に一方的なもので終わってしまわないよう、市当局と議会が議論のキャッチボールをしながら市政運営を行っています。



※ 非認知能力向上対策事業

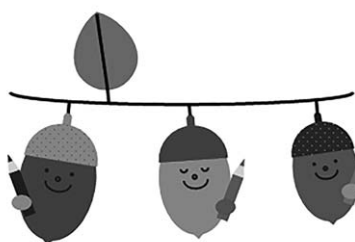
3年間の実証結果を踏まえ、課題や推進体制を十分に検証したうえで、導入に向けた取り組みを推進されたい。

なお、学校現場では、新学習指導要領への移行の取り組みや教職員の働き方改革などが進められており、実施にあたっては今回のモデル校はもとより各学校や教職員の負担の増えることのないように十分留意されたい。(予算決算委員会)

2学期からモデル校2校の1～3年生で演劇ワークショップの授業を実施し、プログラム・評価方法などを検証し、修正を加えながら3年間で効果測定をしていきたい。

事業実施にあたっては、教職員の負担にならないよう、プロの演劇指導者による演劇ワークショップによる授業を行い、非認知能力の変容を測定する方法については、大学に委託し研究することとしている。(こども教育課)

※非認知能力とは…気質や性格などテストの点では表しにくい力のことで、豊岡市では特に「やり抜く力」「自制心」「他者と協働する力」の向上を目指しています。



平成30年度豊岡市土地開発公社決算

公社が所有する土地は2件あるが、いずれも今後処分が見込めるような場所ではなく、また、新たな土地を7年以上取得していない。

については、公社の役割について十分考慮され、整理・解散も含めて検討されたい。(総務委員会)

市の事業の将来計画としては、大規模な用地買収の見込みはないとしても、国の事業として進められている高規格道路の整備に関連する事業で、公社が必要となる可能性が残っている。今後は、その動きを注視しながら、解散に向けて検討したいと考えている。(財政課)

令和元年度豊岡市下水道事業会計補正予算(第1号)

本補正については、一般会計繰出金積算誤りによるものであり、下水道会計のみならず、一般会計にも多大なる影響を与えた。

今後は、チェック体制の見直しや研修会への積極的な参加等、徹底した再発防止に努められたい。(建設経済委員会)

各担当で業務のチェックリスト作成を進めており、完成後にマニュアル作成を予定している。

担当業務について、係内で研修を行い情報共有に努め、チェック体制の確立を図っている。(下水道課)

12月定例会の日程 ～ぜひ、議会傍聴にお越しください～

開会	11月29日(金)
一般質疑・質問	12月9日(月)～12日(木)
常任委員会審査 (総務・文教民生・建設経済)	12月13日(金)
常任委員会審査(予算決算)	12月12日(木)*・20日(金)
特別委員会審査 (広報広聴・人口減少・防災)	12月20日(金)
閉会	12月25日(水)

※ 一般質問終了後に開催
・本会議、委員会とも午前9時30分開会
・本会議は市の議場で開催します。
・一時保育(無料)もあります。希望者は1週間前までにお申し込みください。

■ 問い合わせ・申し込み
豊岡市議会事務局
TEL0796-23-1119





まちの
Smile
スマイル
&
Genki
げんき

出石秋まつり 喧嘩だんじり



TAJIMADOMEハロウィンパーティー2019



田鶴野地区大運動会



城崎秋まつり 王橋せり

土生田仁志

芦田竹彦

木谷敏勝

井上正治



石津一美

委員長 松井正志

副委員長 青山憲司

村岡峰男

議会広報
広聴特別委員会

一年間ありがとうございました

編集後記

▼秋の深まりとともに、あの暑い夏の記憶が遠くなつていきます。

▼この一年間、議会広報・広聴の活動に携わり、感じたことは、「限られた紙面と文字でいかに市民の皆さんにわかりやすく議会の活動をお知らせするか」ということでもあります。

▼委員全員が、その命題に真剣に取り組み、編集作業を進めてきました。

▼その評価は、皆さんにお任せするとして、これからも、身近な議会情報紙として進化するよう努めてまいります。

(あおやま けんじ)